

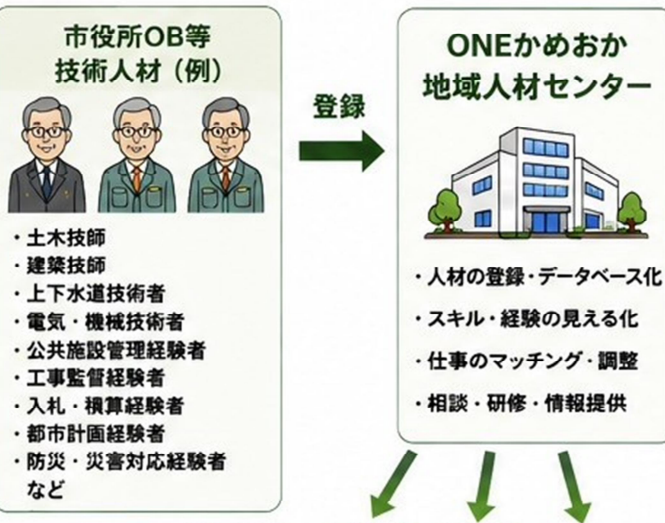
松山議員

説明資料

ご提案 ONEかめおか「地域人材センター」構想

① まずは亀岡市内で循環

市役所OB等の技術人材を登録し、
亀岡市内で活躍の場をつくる



亀岡市内での活躍の場(例)



ポイント

退職しても亀岡で活躍し続けられる仕組みをつくり、
人材の流出を防ぎ、地域の力を高める。

この取組で 目指すこと

経験と技術を地域の未来につなぎ、
亀岡の持続可能なまちづくりを支える

1/3

② 外から亀岡へ呼び込む

亀岡市に必要な専門人材を、
市外・県外からも呼び込み



亀岡市内での活躍の場へ



ポイント

市外・県外の専門人材を亀岡に呼び込み、
地域の力を強化する。

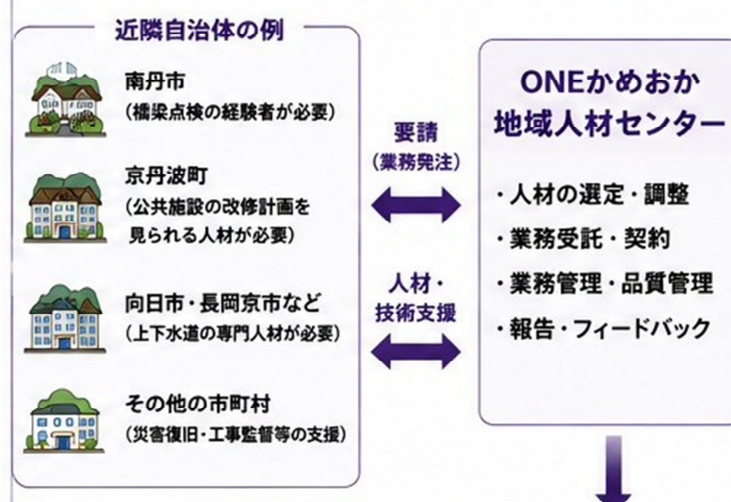
期待される効果

- ✓ 市内にない専門性を確保できる
- ✓ 多様な経験・ノウハウが地域に集まる
- ✓ 亀岡の魅力向上・仕事の創出につながる

2/3

③ 近隣自治体からの要請に応える

蓄積した人材・ノウハウを活かし、
近隣市町からの派遣要請に応える事業へ



提供する業務の例



ポイント

地域の力を広域でまわし、事業として成り立たせ、
近隣自治体の課題解決に貢献しながら、収益化を実現する。

目指す姿



持続可能な亀岡の未来を支える
地域人材循環の仕組みへ

- ✓ 人材が集まるまち
- ✓ 仕事が生まれるまち
- ✓ 技術が未来につながるまち

3/3

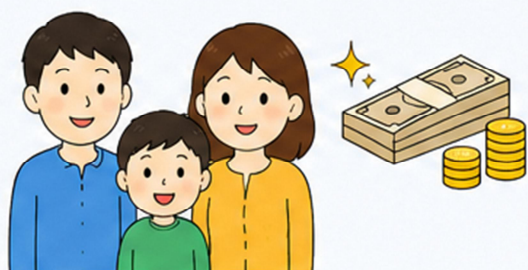


ONEかめおかを「地域の人材が集まり、地域で輝き、地域を超えて価値を生み出す拠点」に！

所得の格差が体験の格差に繋がっている。

① 所得の格差

家庭の経済状況に大きな差がある



経済的に余裕がある



経済的に余裕がない

② 体験の格差

所得の違いが、子どもの体験機会の違いにつながっている

経済的に余裕がある家庭の子ども



旅行 スポーツ・習い事 文化・芸術 自然体験

さまざまな体験の機会がある

経済的に余裕がない家庭の子ども



体験の機会が限られがちになる

③ 教育バウチャーを導入

経済的理由で体験の機会を持ちにくい子どもに、行政が支援する

教育バウチャー

(スポーツ・習い事に使えるチケット)



体験の機会を広げ、子どもの
成長・可能性を支える



所得の格差が体験の格差につながっているからこそ、
低所得世帯の子どもにこそ**教育バウチャー**を導入すべきです。